

ホームページ <http://sawashima.com/>

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

令和2年第3回定例会号

渋谷区議会区政報告



沢島

ひでたか通信 Vol.25

区議会公明党が学校・福祉施設などの感染症対策を推進!!

ホームページの利便性や新たな区民サービスも提案!
「春の小川」の舞台・河骨川の整備を要望!

第3回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和2年9月10日(主意)

新型コロナウイルス感染症対策

感染拡大防止に関わる対応について

質問 渋谷区における新型コロナウイルスの累計感染者数は952人、ホテル等の宿泊療養、自宅療養も含めた「入院等」の数は、107人、重傷者は0、そしてこの間7人の尊い命を失うことになりました。

この半年間を検証し、今後の対応をお聞かせください。

答弁 (区長) 2月7日に専用の「新型コロナウイルス受診相談窓口」を設置し、区内での患者発生、相談件数の増加に対応し、看護師の配置、増員を行い、相談体制の確保を行っています。

また、本区でも感染者が多数発生し、疫学調査や保健指導の業務量が増加したため、保健所に加え、健康推進部や、他の部署の保健師も含めた全庁的な応援体制を組み、休日夜間を含め、業務に当たってきました。

緊急事態宣言の発出により区民全員がこれまでにない長期の自粛生活を経験し、区は生活の

支援、子ども達の学習環境等の確保など様々な取り組みを行う一方で、PCR検査では区医師会や医療機関と連携し、検査体制を確保しました。

さらに、接待を伴う飲食店におけるクラスター発生を防止するための協力金給付制度の開始、福祉施設職員を対象とした感染予防のオンライン研修の実施等、感染拡大防止の取り組みを行っています。

引き続き患者発生の動向を見守りつつ、インフルエンザの流行が見込まれる冬に向けて、検査体制や医療確保について、さらなる拡充を見当ててまいります。

クラスター対策について

質問 ウイルスを持ち込ませない感染予防策、万が一陽性者が出ても感染拡大させない対策に勝るものはありません。

答弁 (区長) 新たに作成した渋谷区の施設におけるクラスター対策を伺います。

「新型コロナウイルス感染症予防マニュアル」に基づき、高齢者施設や障がい者施設等の従事者を対象に研修を実施し、各施設に応じた個別マニュアルの作成を促し、区医師会とも連携しながら、必要に応じた指導を行います。

万一、施設で陽性者や有症状者が発生した際には、迅速に調査を行い、区医師会の協力を得て、施設職員や利用者のPCR検査を速やかにできる体制を確保しており、関係機関と連携して、区施設の感染予防及び感染拡大防止に努めてまいります。

教育

新しい情操教育について

質問 学校は集団生活、集団活動を通し、子どもたちの情操を育む場でもあり、学校行事やイベント等で、協働性や集団活動での達成感、歓喜や悔しさ、また人を応援する心なども、大事な経験であります。

しかし、集団や密集を避けなければならぬ感染症と闘う中、新しい情操教育、新たなコミュニケーションを創造することが今後必要かと思えます。

答弁 (教育長) このコロナ禍の現状を捉まえ、情操教育の面では、道徳を中心に、医療従事者などがどのような思いで仕事を行っている

のか、新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者の気持ちを考えることなどを通じて、人思いやる心や、社会に貢献することの大切さなどの心を育んでいます。

また、タブレット等のICT機器を有効に活用し、遠隔にいる児童生徒や大人たちとの交流を行うことにより、新しいコミュニケーションが生み出されると考えます。

今後、「学校の新しい生活様式」の中で、新しいコミュニケーションの充実が一層図られるよう努めてまいります。

今後の中学校教育について

質問 中学校は来年度から新しい学習指導要領のもと、新教科書で学習することになります。

本年度の現下の状況での学習・学力からの来年度へスムーズな移行をするための課題と対策を伺います。

答弁 (教育長) それぞれの学年における学習内容で学び残しが生じないよう、文部科学省の指導資料や教科書会社から発行された資料を参考にするとともに、円滑な移行がなされるようしております。



今後のウイルス感染対策について

質問 8月31日で区立の幼稚園、小中学校が夏休みを終えました。新型コロナウイルスへの万全な感染予防対策、さらに、秋冬に向かいインフルエンザ感染防止対策も大事です。

回答（教育長）新型コロナウイルス感染症対策の一環として、消毒液や石鹸、アルコールを含んだ手指消毒液、アクリル板やサーマルカメラなどを学校に配備してきました。今後は、補助金を活用し、整備を検討しているものとしては、水道の蛇口を一部自動センサー式に取り換えることや、調理室のトイレを和式から置き式の洋式のものに取り換えることなどです。

コロナ禍における児童虐待の対応について

質問 新型コロナウイルスの感染拡大によって「ステイホーム」が叫ばれ、家庭環境の変化により、DVなどを含む夫婦間の問題が取り沙汰されました。それによる子どもへの影響も問題視されています。区内の状況と対応を伺います。

回答（区長）渋谷区では、教育センターのスクールソーシャルワーカーやこども発達相談セン

ターの専門チームが、学校や保育施設を定期的に訪問し、子どもや保護者の心配情報をいち早く収集し、要保護児童対策地域協議会を通じて情報共有を行い、早期対応に努めています。

区民サービス

区のホームページについて

質問 第2回定例会でもホームページのアクセシビリティの整備をお願いいたしました。視覚障害者、高齢者、外国人への情報バリアフリーの観点から、少なくともアクセシビリティの方も取り残さない優しさが必要と思います。

回答（区長）第2回定例会でもホームページのアクセシビリティの整備をお願いいたしました。視覚障害者、高齢者、外国人への情報バリアフリーの観点から、少なくともアクセシビリティの方も取り残さない優しさが必要と思います。防災情報の提供は、視覚を用いないとハザードマップが読み取れない、英語など外国語のハザードマップが用意されていない点は、早急な改善が必要です。区のホームページのさらなるアクセシビリティの充実に向けた進捗と今後の取り組みを伺います。

回答（区長）第2回定例会後の具体的な進捗例といたしましては、8月より自動翻訳の対象言語として、従来の英語、中国語、韓国語に加えて、新たにフラン

ス語を追加いたしました。また、全国160の自治体が採用している「カタログポケット」というサービスを導入し、「しずや区ニュース」を9種の外国語で閲覧いただけるように、各言語での音声読み上げや、文字の拡大表示にも対応していることから、アクセシビリティ改善に寄与できたものと考えております。

質問 死亡届の提出時に、亡くなられた方に関する手続きを総合的に案内する「おくやみハンドブック」を配付する自治体が増えています。役所でできる手続きのほか、役所外で必要になる主な手続きも掲載されています。また、ワンストップでできる「おくやみ相談コーナー」の窓口設置も、ご遺族の負担軽減につながると思います。

おくやみ相談について

質問 死亡届の提出時に、亡くなられた方に関する手続きを総合的に案内する「おくやみハンドブック」を配付する自治体が増えています。役所でできる手続きのほか、役所外で必要になる主な手続きも掲載されています。また、ワンストップでできる「おくやみ相談コーナー」の窓口設置も、ご遺族の負担軽減につながると思います。

回答（区長）当区では、「ご遺族の方へ」という冊子を死亡の届出があった際にお配りしています。冊子の記載内容は、総合的なご案内となっておりますが、手続

きのチェックリストのページを設け、各手続と届出場所をご案内しています。

質問 渋谷と言えば「春の小川」河骨川（こうほねがわ）。しかし、その河骨川はどこを流れていたのか、歌碑近辺から以南の宇田川の合流までは分かりませんが、北へ行くほど複雑で、遊歩道なのか生活道路なのか、どういう位置づけなのかいささか迷います。何らかの整備をして頂けないでしょうか。

渋谷区名所の整備について

回答（区長）広く愛唱されている「春の小川」の舞台となった河骨川。区としても、こうした歴史を後世に伝えていくことは大変重要だと考えております。今後、どのようにしたら河骨川の名残を、現地で区民や来街者の皆さまに感じていただけるか、その方策について研究していきます。



渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英 隆

渋谷区議会議員 **沢島ひでたか**

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962

